

中斎塾 東京フォーラム  
平成 30 年度 第 1 回講話

平成 30 年 1 月 13 日  
於 湯島聖堂

おはようございます。同時に明けましておめでとうございます。本年もどうぞよろしく  
お願いします。

今日の東京フォーラムに岡本参事が一番後ろに座っていますので、話をさせていただくよ  
うな機会を作りたいと思っております。

年が変わりましたので、レジュメに従いつつ進めたいと考えております。もちろん脱線  
もいたします。

今日ご覧に入れる本は、中村天風先生です。回します。

### 紹介書籍

『叡知のひびき一天風哲人至箴言注釈』中村天風著 講談社

元旦に目が覚めた時、グループウェアで皆さんにちょっとご挨拶をしようと思い書きま  
した。パソコンは上手ではございません。時々けたたましい音をたてます。警告とかお金  
払いなさいとか出ますが、さて困ったなと思いながら色々やっていました。途中で子供に  
聞いたら「あれは全部詐欺なので、詐欺にいちいち付き合うことはない」と言われても、  
私はこれをどうやって消せばいいのか分からないから、子供を叩き起こして「どうやるの  
か」と聞いたら、眠そうな顔をして強制終了をしてしまった。これぐらいだったら私でも  
分かる。そんなことがありました。

それでグループウェアで全員に一斉配信で流そうと思ったら流せない。せつかく書いた  
から皆さんに出したいと思い、色々したが発信しない。仕方がないので一人ずつ丹念に出  
しました。でも岡本さんだけには送れなかったらしく、今井副理事長から「何で岡本さん  
だけ送らないのですか」ときました。私は皆に送ったものだと思っていましたので、ずっ  
と調べていったら、確かに岡本さんに送っていませんでしたので、最後に追加で入れまし  
た。つくづく私はレベルが低いなと思ったけれども、さらにそれをまた覚えようという氣  
は起きませんで、ここから先にいこうと思ったら、よほど恥かかないと駄目だろうと思

います。まあそんな形で、もうちょっと覚えなきゃいけない。自分がやりたいと思う操作方法だけは覚えなきゃいけないなど、最近になって反省をいたしております。

ここら辺を基本哲学の知足で考えれば「もっともっと」とか「どんどん」は無しです。「ほどほど」と思っています。今は70歳ですから、70歳の人間のパソコン操作はこれぐらいでよろしいと勝手に自分で決めました。

グループウェアでご挨拶だけしたら、返事がくる。酒井理事との返事のやり取りで、私が「70歳からは、その身体を維持する方法を考えて実行しています。今年は、80代の頭と身体を考えることにしています。その人生の節目として、74歳・78歳・79歳・85歳を意識しています」と書きましたら、「後で教えてください」ときました。「後で教えます」と書きましたが、これは色々繋がりますので申し上げます。

パソコンを自分でそれなりにこなすには、自分で良いと思うぐらいのレベルでよかろうと70歳で思いました。

今後の節目として思うことは、非常に個人的なものだから書きませんでした。74歳は金婚式。78歳は私がつくった会社が50年を迎えますから、会社が50周年である。79歳は中斎塾が20年であるという節目です。

85歳は、この間、石川忠久先生に年が明けてからお会いしました。忠久先生は85歳の誕生日を自分でお祝いして漢詩を作りました。前にご紹介いたしましたが、もう一度ご紹介いたします。

老來踰矩愧文宣

猶比放翁齊永年

不管世間多少謗

笑立春風楷樹前

八十五回誕辰 丘道

「老来（ろうらい）矩（のり）を越えて文宣（ぶんせん）に恥ず」文宣は孔子のことです。孔子の「七十にして心の欲するところに従いて矩を越えず」という心境を、私はもう見てしまった。70代を過ぎて、もう80代の半ばにきた。文宣に恥ずというのは、孔子が70代でここまでやったのに、私はまだこれぐらいしか出来ないのか。孔子に比べると恥ずかしいと思う。なんとなく恥ずかしいと思うといいながら胸を張っている部分が見えます。

「猶放翁の永年に齊（ひと）しくするに比す」放翁は陸游という漢詩人です。70代を過ぎて孔子があればだけのことを成し遂げた。それで85歳は誰かいないかなと思ったら陸游がいた。放翁の85歳まできた。私は85歳になってみて、陸游が85歳、私は肩を並べたじゃないかなと。永年に齊しく比すというのは85歳で私は肩を並べたよと。

「管（かん）せず世間多少の謗りを」先ほど猪瀬理事長が自分のことを話す時に、世間は色々なことを言うものだと言いましたでしょう。そういうものがこの中に入っています。

世間様は私のことについて、とやかく批判をする人もいるようだがということです。それに関せずだから、世間が私のことをどう批判しようが、悪口を言おうが、私はまったく気にしないようにしているよと忠久先生は言います。

「笑って立つ春風楷樹の前」それで最後が、世間が何を言おうと気にしないで、私はニコニコと孔子の木といわれる楷樹の前に立って、みんなが悪口を言っても気にせずにいるよとっている。

こういうことを世間様にいってよいのかと思ひまして、何故かといいますと「笑立春風楷樹前」は一見すると、中村天風先生の悟りきった素晴らしい人格者というところで、一瞬、錯覚をさせる文章です。忠久先生に「これは良いのでしょうか」と聞きましたら「いいの、いいの」と言います。先生は、世間がいろいろ批判したって知らないよというだけですから、まだまだ稚氣がたくさんあります。

その節目というのは世間様から見てではなくて、自分の心の中でこれは大きな節目だなと思うものを勝手に書いただけです。ということで酒井さんよろしいでしょうか。

酒井理事一はい。有難うございます。

あと小此木会員が松下幸之助さんの言葉が良いと書いていました。この間、湯島聖堂で講演会がありました。隣の席でご挨拶されたので見ましたら 100 年経営研究機構の後藤先生でした。講演会が終わって後藤先生と歩きながらお喋りをしている時に、「あそこのビルを知っていますか」と言われました。あそこというのは企業家ミュージアムです。今日は、関係者の方も中斎塾フォーラムにご参加いただいております。

松下幸之助さんの話から湯島聖堂の隣のビルへ話がいきましたが、昨年の暮れにお邪魔をしたら年賀状をいただきまして、お出掛けくださいと書いてありましたので、また出掛けようと思っています。

さてどういうふうに繋がったかという、小此木さんは松下幸之助さんのことを良いと思う。脱線ですが、松下幸之助さんは最後まで院政を振るいました。皆さんにも関係ありますから話しますが、あの方は自分を神格化させたでしょう。神様扱いをさせましたよね。私は嘘つきだと思っただけです。というのは素晴らしいと思う人は素晴らしいという部分があるけれども、違う側面も見べきだと思います。松下幸之助さんの違う側面というと、世田谷夫人という人がいました。今、笑い声が出るということはお存じですね。松下幸之助さんは、女性とねんごろになっていることを隠しました。松下幸之助さんが外国へ出掛けて、自分の彼女に手紙を書くけれども宛名が書けない。同行した部下に真夜中に電話をかけて起こして「手紙を書いたから宛名を書いてくれ」と、詳しくは本に書いてあります。このように隠したいものは、ご本人が亡くなった後、すぐ世間に広がりました。そういうこともあるから、表面だけみれば素晴らしいと思うけれども、ちょっと違う面も見ておく

必要がありますよと小此木さんに話そうと思っていました。

それで、そのミュージアムを見にいったら、神格化された人または実際に素晴らしいと思う経営者の人達を文章だけで説明するのでは分からないから、目で見えるような物を写真で出してみたり、絵で描いてみたりとビジュアル化をするべきであると思います。目で見て見えるような物をかく。

私が説明するのも変ですが、お邪魔して戦後の素晴らしい経営者について、色々ご紹介していました。そして戴いた本の中で澁澤栄一のことが最初に書いてありました。

澁澤栄一や松下幸之助や他の人達にしても、その時代の背景、例えば明治時代の時代背景と明治末期から大正の頃の時代背景だと違います。その後の時代背景が違いますから、そういう物もビジュアル化の中に取り入れとくと良いなと思います。明治時代は二号さんのことを権妻さんという言いかたをしていました。正妻さんがいて権妻さん。

西郷隆盛だったら、西郷隆盛をめぐる四人の女性という言いかたがある。この間テレビで、西郷さんをめぐる三人の女性というテレビを見ました。よく調べたなと思いました。

私は昨年暮れに、西郷さんが一番和やかな生活をおくった奄美大島に行きました。西郷さんが住んだ 150 年前の建物がそのままの形で残っています。奄美大島で西郷さんの子孫の方といろいろ話をしてきました。台湾の女性について聞きましたら、名前は申し上げられないけれども、今では血筋は絶えましたねという話になりました。これは間違いなく西郷の遺族として確認しておりますと話しておられました。それで台湾のお子さんが西郷さんの腹の中では長男。愛加那が産んだ子供さんが二番目だから菊池源吾（西郷隆盛の別名）の菊を取って菊次郎と名付けました。

つい最近のテレビを見ていましたら、ある役者さんが私は正妻さん以外、心から惚れて云々でというのはない。みんな全部浮気で遊びだと公言をしていた。まったくけしからん人だなと聞いていたけれど、西郷さんの場合は、心からひたすら愛するという感じでした。それで京都の愛人といわれた女性は、愛人というよりは何だろう。戦友みたいな間柄でしょうか。ちょっと一種独特な女性とのお付き合いの仕方を西郷さんはしていたと思います。松下さんとは、だいぶ違うなという気がしました。小此木さんの話から、脱線がだいぶ広がりました。

知足は、ほどほど。男女の関係も、ほどほどが良い。あまり入れ込まないほうが良いでしょう。

## 論語の視点（衛霊公十五 2～3）

【二】子曰く、賜や、女<sup>なんじ</sup> 予<sup>われ</sup>を以て多く<sup>もつ</sup> 学<sup>お</sup>びて之<sup>まな</sup>を識<sup>これ</sup>せる者<sup>しる</sup>と為<sup>もの</sup>すかと。対<sup>な</sup>えて曰<sup>こた</sup>く、然<sup>いわ</sup>しか

り、非なるかと。曰く、非なり。予は 一 以て之を貫くと。

以前、猪瀬理事長が「分からないことは人に聞けば良い。すぐに答えてくれるから」という会話があった時に、「百科事典みたいなもんですかね」と聞いたら「はい。そうです」と。それは私の感覚からすると、まずは自分で百科事典や辞書を調べれば良いでしょう。自分で辞書をひく前に、人に聞く人があるもんかと思います。

今年は「どういう意味ですか」と聞かれたら、答えないで「調べてください」という言いかたに変えています。だからこの章句の孔子は、そういうことです。

孔子が「子貢、お前は頭もとても良いけれど、まさかお前は私のことを百科事典扱いしていないだろうね。単なる物知り人間だと思っているのではないだろうね」と。孔子にそう聞かれて、お弟子さんの子貢は「あれ、そうじゃないのですか。先生は何でも知っているし、何でも答えてくださる」単なる物知り人間にプラスアルファだけになっているだけではみたいなことを答えるので「違うよ」と。

「予は一以て之を貫くと」これは論語の中でみれば、また儒学・儒教という考え方でみると、ここが根幹の部分であるという説明を学者はします。一とは「忠恕」思いやり。これが儒学を学ぶ中での一番の根本である。これは忠恕じゃなくても何でもいいのですが、今風に解釈すれば、「仁」というふうにとっても良いし「人間として踏むべき道」でも良いでしょう。自分がこういうふうに進んでいきたいな、自分はこれを大切にしたいなと思うものがあればよろしいでしょう。基になる判断基準をひとつ持てば良い。ひとつの判断基準があれば後はバツバツと切っていけば良い。そういう考え方で「一以て之を貫く」は、心の中に自分を支える哲学があれば、その哲学は判断の基になります。色々な問題に対して、臨機応変に対応ができると考えれば良いでしょう。

ちなみに百科事典でいうと、これ脱線ですが、広辞苑が新しく版を重ねて第七版です。辞書は、時代にに応じて中身が変わってきます。広辞苑もどう編纂するのかなと思っていたら、今朝のテレビだったと思いますが、編集者が自分の知らないことでハッと思ったものがあつたら、必ず手帳に書き留める。広辞苑に載せることを決めるのは「私が直感で決めます」と。個人の主観でやっているわけです。それはこの「予は一以て之を貫くと」ということを、そのまま実践しているということです。

今日は、ご夫妻で参加されている方がいます。ご夫妻でいくとしたら、奥様がご主人を大切にする場合に、なぜ大切にされていると思いますか？

私の話でいきますよ。家に帰ると、家内が今日はこれを買ってこう料理したから是非食べてくださいと食べさせる。美味しければ美味しいと言うし、健康で長生きしてくださいねという会話をします。こちら辺の腹の中は何があるかなということです。

健康で長生きということは、ずっと長く生きて、生きている間中は稼ぎ続けて私に貢いで頂戴というふうに思うから、稼ぐためには健康でなければいけない。もしも病気になってしまったら私も大変なことになるから、くれぐれも病気にならないでという心持ちがあるのか、それとも私の大事な旦那様ということで、ただひたすら真心をもって大切にするのか。

これは中村天風先生の今日のテーマ「積極心」になります。話が飛びましたけれども、ひたすら真心を込めて相手のためにということは積極心です。積極心の話をするのは一番のポイントだからです。

積極心に「晴れてよし 曇りてよし 富士の山 もとの姿は変わらざりけり」という句があります。

積極心のポイントは三つあります。真心がベースですから積極心と消極心。積極的なものと消極的なものに比較しないこと。相対するということはしない。積極というのは、ただひたすら積極。真心を尽くすと言ったら、積極的に大事にしようと思う人がいる。あちらに消極的に大事にしなきゃと思うと、義務的に大事にしようと思わない。積極心というのは比較するものではないと天風先生はいわれます。

二つ目は、勝とうとしない。負けようとも思わない。何があっても平然と生きている状態というのがポイントです。時々、猪瀬理事長が唯識学で言いますが、天風先生は何があっても平然と生きている状態。病気だったり怪我だったり、またはお金がなくなって、倒産や自己破産そういう状況にあっても、または生死の境目に立っても平常心でいられる。これは戦争をする時に勝とうとしない。負けようとする。そういう勝ち負けということを考えない平常心になっていること。

三つ目が、他人の態度で自分の態度を変えない。いつもニコニコしている人が自分の顔を見てじろっと睨んだ。恨みのこもった眼で見た。何なんだろう。あいつがああいう顔をするから私も不愉快になって不愉快な顔を返した。そういうことをしちゃいけません。今まわしている天風先生の本の中では寛容さを失わないようにとあります。清濁併せ持つ人格を作りなさいと書いてあります。

これらを言葉として表したものが「氣に入らぬ 風もあろうに 柳かな」という俳句があります。天風哲学の人生理念に対する心理の言葉です。時々味わうと良いでしょう。腹の中が煮えくりかえっているような時には、いろいろ良い言葉があります。その中で良さそうな物を見つければよいと思っています。今回は、あちこち飛びましたけれども、論語の解説の中ですので「予は一以て之を貫くと」とは、一というのは哲学。自分の哲学をお持ちになると良い。今日はテーマで「積極心」を書きましたから、積極心も少し説明いたしました。

レジェンドという言葉が解説の中にありましたけれども、どうもレジェンドという言葉が気に入らないと思って聞いていました。生きながらにして伝説になる人が、そんなにい

るわけないだろうと思う。あれもレジェンド、こっちもレジェンド、レジェンドだらけで  
気に入りません。伝説の勇者みたいなのが、ごろごろいてたまるかという余分なことを思  
いました。

### 【三】子曰く、由、徳を知る者は鮮し。

孔子が可愛がっていた子路に対して、「子路よ、徳を知っている者は本当に少ないね」と  
いう話をしたわけですが、ここらへんは佐藤一斎が書いた「漫言」という漢詩があります。  
その中で同じことを言っている部分があるので、ちょっと解説をします。

落落たる乾坤 人 亦無し  
誰か古より 是れ真儒  
唯だ 名と利と多く 累いを為す  
一たび此の関を過ぐれば 纔かに丈夫

「落落（らくらく）たる乾坤（けんこん）人 亦（また）無し 誰か古より 是れ真儒  
（しんじゅ）」この広々とした天地の中で人物といわれる者はずっと眺めてみるがまるでい  
ない。歴史的にみても現在にもいない。歴史的にみて、これが本当の碩学だと大学者だと  
いわれるような者は、反省を込めながら誰がいるかねと。「唯だ 名と利と多く 累（わず  
らい）を為す」名は名誉欲。利は我欲や私利私欲。名誉欲と私利私欲がその人を滅ぼして  
いる。滅びなくても、とんでもないしっぺ返しが名誉欲と私利私欲で動いた人間には返さ  
れてくるものなので、「一たび此の関（かん）を過（すぐ）れば 纔（わず）かに丈夫」名  
誉欲と私利私欲そういう関所を乗り越えることができるのは古今東西をみて、ほんの一握  
りだけどいる。私も是非そうなりたいたいものだということが入っております。

孔子は、私はそうなりたいが、子路はどうかと聞いた。

よくこの子路と子貢は対比して紹介されています。そういうことで身の周りを見渡して  
子路タイプと子貢タイプは誰がいるか。または自分はどのようなタイプかなと考えてみれば  
よいと思います。

### 恒例の質問

- ・今年に入って良い日が続いている方。
- ・嘘は今年に入って吐いていない。ちょっとしか吐いていない。

・有難うと言ひ、有難うと言われる日々が続いている方。  
ご夫妻ですと、お互いに有難うと言ひあうようにしましょう。

・今年、健康法をどんどん実践している方。  
そのうち栗林副代表幹事に健康法について話していただきたいと思います。それだけの値打ちものだと思います。健康法について自分で良いなというものを発見したら、どうぞ他の方にも薦めてください。

・昨晚、気持ちよく眠れましたか。満足感を持って眠れた方。  
ポイントは、今日は良かったな。満足したなと思って眠れた方。聞き方を変えますが、明日も満足したなと思って眠った方。…これは難しいかな。  
ここらへんがポイントで、今日は満足できた、満足感に溢れて眠ったという時に、明日も満足したなというのと、明日は満足したいというのは裏腹です。だいたい明日は満足したなと思うことは、たいがい出来ない。明日が良いことあると良いなと思うことは、あまり良いことがない。思うということと、過去形で出来てしまったということは相当な差があります。

・今年に入って自分磨きをせっせとしている人。  
けっこういますね。有難うございます。

ここの質問をしていく根っこの部分は、先ほど理事長がどんどん学ぶと人は変わると言いました。私も実感をしています。この質問を続けていくと変わりますよ。嘘をつかない。嘘を言おうとすると何か苦しくなりますから。  
有難うございました。